

透視度計

(プラスチック製スタンド付)

取扱説明書

JIS K 0102 参考

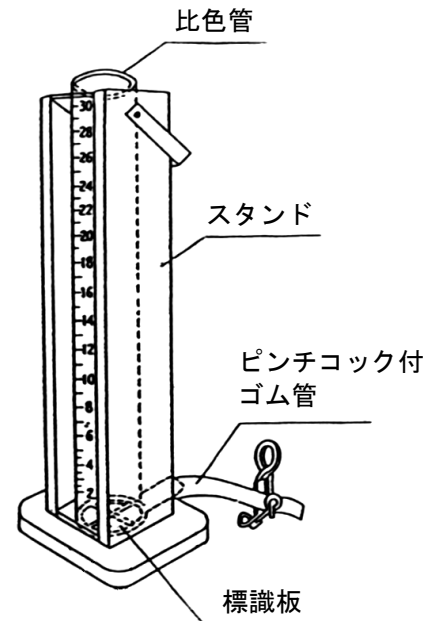
1. 概要

透視度計は水道水・プール水・雨水・河川水・湖沼水・海水・下水等の透明の度合を測定するための器具です。

透視度とは、試料の透明の程度を示すもので透視度計の上部から透視し、底部に置いた標識板の二重十字が始めて明らかに識別できるときの水槽の高さを測り、1 cmを1度として表します。

2. 仕様

品 名	透視度計プラスチック製スタンド付
寸 法	100 (W) × 100 (D) × 327 (H) mm
質 量	約 440 g



3. 使用方法

- (1) よく振りまぜた検水を透視度計に満たし、上部から底部を透視し、標識板の二重十字が初めて明らかに識別できるまで、下口から検水をすみやかに流出させたときの水面の目盛りを読みます。
- (2) 上記(1)の操作を2～3回繰り返し、水面の目盛りを読み平均値を求め、透視度として度で表します。

4. 注意

- (1) 懸濁物質の多い検水の場合には、透視度計の底部に沈積することがあり、誤差の原因となりますので注意してください。
- (2) 透視度測定は人の感覚または官能による試験ですから、他の化学分析のような絶対的な値は存在せず、個々の測定値がすべて有効となります。
- (3) 同一検水についてできるだけ多数の人が測定した値の平均値を採用することが望めます。測定者が一人の場合には同一検水について同じ試験を数回繰り返し、それらの平均値を採用してください。
- (4) 明るさは、光源の違いによって同じ照度でも彩度が異なる場合には、透視度に非常に影響を与えます。従って透視度の光源は原則として昼光とし、直射日光は避けてください。
- (5) 透視度計の上部から底部の標識板の二重十字を透視した場合、「明らかに識別できる」は薄暮帯の幅が広いので、透視度を判定しにくいことがあります。しかし「明らかに識別できる」点の判定は、測定者の主観によって行うことになります。

10.06.07H (04)



SIBATA SCIENTIFIC TECHNOLOGY LTD.

柴田科学株式会社

本 社 〒340-0005 埼玉県草加市中根 1-1-62

東京営業所 ☎03-3822-2111 福岡営業所 ☎092-471-5515

大阪営業所 ☎06-6356-8131 仙台営業所 ☎03-3822-2111

名古屋営業所 ☎052-263-9310 受付窓口が変わりました

<http://www.sibata.co.jp/>

カスタマーサポートセンター(製品の技術的サポート専用)

フリーダイヤル 0120-228-766 FAX: 048-933-1590